

(案)

R2.1.22会議資料

第5次千曲市行政改革大綱

実施計画書

(令和2年度～令和6年度)

令和2年4月

長野県千曲市

目 次

【重点項目Ⅰ】スリムな行政体制の構築

実施項目1 事務事業の見直しと効率化

取組項目		担当課	ページ
No.1	審議会等の見直し	(継続)	総務課 1
No.2	総合計画を補完する「個別計画」の整理・統合	(新規)	総合政策課 1
No.3	全庁ネットワークの更改に合わせた業務効率化の進展	(継続)	情報政策課 2
No.4	自治体クラウド導入による業務改革の推進	(新規)	情報政策課 2
No.5	学校施設の有効活用と施設のスリム化	(新規)	教育総務課 3

実施項目2 効率的な組織体制の整備

取組項目		担当課	ページ
No.1	業務の見直しによる適正な人員配置と多様な働き方の実現	(継続)	総務課 4

【重点項目Ⅱ】持続可能な健全財政の堅持

実施項目1 歳入の確保

取組項目		担当課	ページ
No.1	公共施設利用者負担基準の見直し(改定)	(継続)	財政課 スポーツ振興課 5
No.2	ふるさと納税の推進	(継続)	総合政策課 5
No.3	不要財産(土地)及び不用物品の売却促進	(継続)	管財契約課 6

実施項目2 歳出の適正化

取組項目		担当課	ページ
No.1	バス使用料の削減	(新規)	総務課 7
No.2	公共施設の統廃合の推進	(継続)	財政課 7

【重点項目Ⅲ】多様な市民ニーズに応じた行政サービスの向上

実施項目1 市民の利便性の向上

取組項目		担当課	ページ
No.1	行政手続きのオンライン化促進	(新規)	情報政策課 8
No.2	コンビニ証明書交付の利用促進	(継続)	市民課 8
No.3	放課後児童クラブの利用拡大	(継続)	こども未来課 9

実施項目2 民間活力の活用・推進

取組項目		担当課	ページ
No.1	各種業務の民間委託の推進	(継続)	財政課 10

○第5次千曲市行政改革大綱・実施計画取組項目 全15項目中

第4次行政改革大綱からの「継続」項目 10項目

第5次行政改革大綱からの「新規」項目 5項目

【重点項目 I】
スリムな行政体制の構築



実施項目 1 事務事業の見直しと効率化

教育

ジェンダー

成長・雇用

イノベーション

不平等

取組項目 No.1	審議会等の見直し																										
	(第4次から継続) 【担当: 総務課】																										
現状と課題	市民参加による行政運営を進めるため数多くの審議会等が設置されているが、既に役割が終わったもの、他の審議会で協議できるものなど順次整理していく。																										
取組内容	<p>「審議会等の設置等に関する基本指針」の周知・指導を行う。 審議会等の委員名簿の更新を行う。 審議会等設置、継続、統廃合の必要性の検討を要請する。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度計画</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> <tr> <td></td><td>実施</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td>⇒</td></tr> </table>						年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		実施	⇒	⇒	⇒	⇒									
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																						
目標・成果	<p>役目を終えた審議会等の廃止。 他の同種審議会等と統合による整理。 審議会等機能が発揮されるような適任者を選任するよう指導徹底を図るとともに、女性委員の登用についても促進する。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標の項目</th><th>単位</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度														
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																					
取組項目 No.2	総合計画を補完する「個別計画」の整理・統合																										
	(第5次から新規) 【担当: 総合政策課】																										
現状と課題	<p>各課において策定する個別計画は、第二次千曲市総合計画策定時点では42計画あるが、内容や課題に重複が見られるものもある。</p> <p>国の立法にともなう計画策定の努力義務等が増加しているため、今後も増加することが予想されるうえ、計画策定に対する財源措置のないものもあるため、財政負担の増加も懸念されるのみならず、これら計画策定に費やす業務量も増加しており、人的負担も増加している。</p>																										
取組内容	<p>個別計画を再点検し、統合可能なものについては順次統合を行う。 また、作成にあたっても内容を精査し、不要な記述を極力減らす。 さらに、国に対し計画策定を努力義務としているにも関わらず策定状況を調査・公表している現状の是正を要望する。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度計画</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> <tr> <td>調査・研究</td><td>実施</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td>⇒</td></tr> </table>						年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒	⇒									
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																						
目標・成果	<p>計画策定は必要最小限とし、市民にとって分かりやすいものとするとともに、事務量の削減と財政負担の軽減を達成する。 5年間で10%の削減を目標とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標の項目</th><th>単位</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> <tr> <td>計画数の削減</td><td>計画</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計画数の削減	計画												
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																					
計画数の削減	計画																										

取組項目 No.3	<h2>全庁ネットワークの更改に合わせた業務効率化の進展</h2> <p>(第4次から継続) 【担当：情報政策課】</p>																											
現状と課題	<p>平成15年の市町合併の際に構築した情報通信基盤である全庁ネットワークは、新庁舎建設に合わせて最新のネットワーク技術、セキュリティ対策を取り入れ、新たに庁内・公衆無線LAN環境の構築、ネットワーク認証、印刷認証の仕組みを構築した。 今後これら仕組みを活用して、業務効率化や業務経費の節減に向けて具体的に取り組んでいく。</p>																											
取組内容	<p>ノート型端末を利用した庶務事務や基幹業務における運用経費を定量的に見える化するためのデータ分析手法を確立して、以下の業務効率化や運用経費節減を具現化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無線LANによるシームレスなコミュニケーション連携の実現 ②タブレット型端末等を活用したペーパーレス会議の恒常的開催 ③認証印刷による業務印刷経費の徹底的な節減及び情報漏洩対策の運用徹底 <table border="1" data-bbox="557 669 1457 759"> <thead> <tr> <th data-bbox="557 669 711 759">年度計画</th><th data-bbox="711 669 865 759">R2年度</th><th data-bbox="865 669 1019 759">R3年度</th><th data-bbox="1019 669 1173 759">R4年度</th><th data-bbox="1173 669 1327 759">R5年度</th><th data-bbox="1327 669 1475 759">R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="557 714 711 759">調査・研究</td><td data-bbox="711 714 865 759">実施</td><td data-bbox="865 714 1019 759">⇒</td><td data-bbox="1019 714 1173 759">⇒</td><td data-bbox="1173 714 1327 759">⇒</td><td data-bbox="1327 714 1475 759"></td></tr> </tbody> </table>							年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒										
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																							
調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒																								
目標・成果	<p>新庁舎建設で整備した情報通信基盤を最大限活用して、組織パフォーマンスの向上を図り、2040年を展望した『働き方改革』実現に向けて各種取り組みを継続推進していく。 取り組み内容①により会議自体の数を削減し省力化を図り、②により会議時の資料の紙、及び資料作成に労務の削減を図る。また、③により複合機やプリンターの使用状況を最適化し使用料の削減を図る。</p> <table border="1" data-bbox="323 972 1457 1111"> <thead> <tr> <th data-bbox="323 972 573 1017">数値目標の項目</th><th data-bbox="573 972 663 1017">単位</th><th data-bbox="663 972 801 1017">R2年度</th><th data-bbox="801 972 940 1017">R3年度</th><th data-bbox="940 972 1078 1017">R4年度</th><th data-bbox="1078 972 1216 1017">R5年度</th><th data-bbox="1216 972 1354 1017">R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="323 1017 573 1062">印刷に要する経費/1人</td><td data-bbox="573 1017 663 1062">円</td><td data-bbox="663 1017 801 1062">調整中</td><td data-bbox="801 1017 940 1062">—</td><td data-bbox="940 1017 1078 1062">—</td><td data-bbox="1078 1017 1216 1062">—</td><td data-bbox="1216 1017 1354 1062">—</td></tr> <tr> <td data-bbox="323 1062 573 1111"></td><td data-bbox="573 1062 663 1111"></td><td data-bbox="663 1062 801 1111"></td><td data-bbox="801 1062 940 1111"></td><td data-bbox="940 1062 1078 1111"></td><td data-bbox="1078 1062 1216 1111"></td><td data-bbox="1216 1062 1354 1111"></td></tr> </tbody> </table>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	印刷に要する経費/1人	円	調整中	—	—	—	—							
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
印刷に要する経費/1人	円	調整中	—	—	—	—																						
取組項目 No.4	<h2>自治体クラウド導入による業務改革の推進</h2> <p>(第5次から新規) 【担当：情報政策課】</p>																											
現状と課題	<p>国の「地方公共団体におけるクラウド導入促進」の方針に沿って、平成28年より長野県市町村自治振興組合により県内19市による基幹系システム共同化研究会が開始した。当市は平成31年3月に基幹系システムの共同化への参加を決定し、現在、塩尻市、中野市と共同利用に向けて準備している。既にプロポーザル方式によるシステム調達は完了し、システムベンダーと契約する段階に差し掛かっており、順調に進めば令和2年11月末に稼働予定である。</p>																											
取組内容	<p>県内3市で基幹系システムを共同利用・クラウド化することにより、共通経費の削減が見込まれる。また、参加団体間で業務が共通化・標準化されることにより、災害発生時の相互支援が可能となる。3市でのスタートとなつたが、後から他市の参加も可能としているので、今後、拡大していくことが期待される。システムの安定稼働後は、5年後のシステム更改に向けての調整を進めていく。</p> <table border="1" data-bbox="557 1646 1457 1740"> <thead> <tr> <th data-bbox="557 1646 711 1691">年度計画</th><th data-bbox="711 1646 865 1691">R2年度</th><th data-bbox="865 1646 1019 1691">R3年度</th><th data-bbox="1019 1646 1173 1691">R4年度</th><th data-bbox="1173 1646 1327 1691">R5年度</th><th data-bbox="1327 1646 1475 1691">R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="557 1691 711 1740">実施</td><td data-bbox="711 1691 865 1740">完了(定着)</td><td data-bbox="865 1691 1019 1740">⇒</td><td data-bbox="1019 1691 1173 1740">調査・研究</td><td data-bbox="1173 1691 1327 1740">実施</td><td data-bbox="1327 1691 1475 1740"></td></tr> </tbody> </table>							年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	実施	完了(定着)	⇒	調査・研究	実施										
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																							
実施	完了(定着)	⇒	調査・研究	実施																								
目標・成果	<p>単年度での大きな経費削減は見込めないが、帳票等の一括発注により中・長期的に運用経費削減が見込まれる。また、契約事務等の共通事務の集約により職員の事務負担も軽減が可能。</p> <table border="1" data-bbox="323 1848 1457 1897"> <thead> <tr> <th data-bbox="323 1848 573 1897">数値目標の項目</th><th data-bbox="573 1848 663 1897">単位</th><th data-bbox="663 1848 801 1897">R2年度</th><th data-bbox="801 1848 940 1897">R3年度</th><th data-bbox="940 1848 1078 1897">R4年度</th><th data-bbox="1078 1848 1216 1897">R5年度</th><th data-bbox="1216 1848 1354 1897">R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="323 1897 573 1942">年間削減額</td><td data-bbox="573 1897 663 1942">千円</td><td data-bbox="663 1897 801 1942">570</td><td data-bbox="801 1897 940 1942">750</td><td data-bbox="940 1897 1078 1942">750</td><td data-bbox="1078 1897 1216 1942">750</td><td data-bbox="1216 1897 1354 1942">750</td></tr> <tr> <td data-bbox="323 1942 573 1965"></td><td data-bbox="573 1942 663 1965"></td><td data-bbox="663 1942 801 1965"></td><td data-bbox="801 1942 940 1965"></td><td data-bbox="940 1942 1078 1965"></td><td data-bbox="1078 1942 1216 1965"></td><td data-bbox="1216 1942 1354 1965"></td></tr> </tbody> </table> <p>(共同化しなかつた場合のR2電算年間経費との比較) ※制度改正による変動あり</p>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	年間削減額	千円	570	750	750	750	750							
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
年間削減額	千円	570	750	750	750	750																						

取組項目 No.5	学校施設の有効活用と施設のスリム化 (第5次から新規) 【担当：教育総務課】																												
現状と課題	<p>少子化により、児童、生徒数が減少してきており、R3年度には川西地区の上山田小、更級小、八幡小の3校が1年から6年まで単級となる見込み。</p> <p>各小学校は地域の拠点であり、現時点では学校の統廃合は考えていないが、使用していない学校内の教室も増えており、児童・生徒数の減少に加え、教員数も減少する中で、不使用施設の掃除などの維持管理も大変になってきている。</p>																												
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校の空き教室などを児童クラブや児童館の施設として使用し、現在受け入れができるていない4年生から6年生の受け入れを可能にする。 施設が老朽化している「ことばの教室」を小学校の空き教室に移転。 学校内で使用していない施設の有効活用の研究と、不要な施設（トイレ等）の閉鎖や撤去。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度計画</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・研究</td><td>実施</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td>⇒</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒																	
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																								
調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒																									
目標・成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教室を児童クラブで使用。（5校） ことばの教室を学校の空き教室に移転。（1箇所） 使用頻度の低いトイレの閉鎖。（1校2箇所） <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th><th>単位</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童クラブの利用</td><td>校</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td></td></tr> <tr> <td>ことばの教室の移転</td><td>箇所</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>トイレの閉鎖</td><td>箇所</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	児童クラブの利用	校	1	1	1	2		ことばの教室の移転	箇所					1	トイレの閉鎖	箇所		2			
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																							
児童クラブの利用	校	1	1	1	2																								
ことばの教室の移転	箇所					1																							
トイレの閉鎖	箇所		2																										

実施項目 2 効率的な組織体制の整備

取組項目 No.1	業務の見直しによる適正な人員配置と多様な働き方の実現 (第4次から継続) 【担当：総務課】																										
現状と課題	<p>行政需要が増大する中、業務量全体に見合った定員が確保されていない実態が全国の自治体で浮き彫りとなってきた。</p> <p>一方で、「業務量に応じた人員配置」と「業務の効率化」は密接不可分の関係にあり、業務の効率化が進んでいない職場を中心に、人員配置に比して業務量が過大になっていることが推測され、これに起因する構造的な超過勤務が生じている可能性は否定できない。</p> <p>加えて、公務員の定年延長議論にも注視しながら、今後の適正な定員管理に努めていかなければならない。</p>																										
取組内容	<p>業務量調査や事務事業の見直しなどを実施し、超過勤務命令等の勤務時間管理の徹底や業務の一層の合理化を図る。</p> <p>具体的な取組目標 ①業務のバランスに合わせた適正な人員配置 ②超過勤務の削減 ③業務の効率化に向けた部課長のマネジメント力の強化</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>調査・研究</th> <th>⇒</th> <th>実施</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	調査・研究	⇒	実施	⇒	⇒										
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
	調査・研究	⇒	実施	⇒	⇒																						
目標・成果	<p>ワーク・ライフ・バランスの観点からも、業務量に応じた定員配置を行うことで、職員の業務負荷が過大とならない人事管理並びに時代に即した柔軟な組織体制を構築する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務(1人あたり年平均)</td> <td>時間</td> <td>111</td> <td>106</td> <td>101</td> <td>91</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	時間外勤務(1人あたり年平均)	時間	111	106	101	91	82							
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																					
時間外勤務(1人あたり年平均)	時間	111	106	101	91	82																					

【重点項目Ⅱ】 持続可能な健全財政の堅持	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
--------------------------------	----------------------------------	--------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	----------------------------------

実施項目 1 歳入の確保		エネルギー	成長・雇用	不平等	都市	生産・消費	実施手段														
取組項目 No.1	公共施設利用者負担基準の見直し（改定）						(第4次から継続) 【担当：財政課・スポーツ振興課】														
現状と課題	公共施設利用者の負担の公平性を確保するため、統一的な利用者負担基準を定めた「公共施設利用者負担基準」を平成30年度に策定し、令和元年10月から改定を行ったが、社会経済環境は変化するため定期的に見直し（改定）を行う必要がある。																				
取組内容	<p>市民ニーズや施設の維持管理等に要する経費の状況を把握するとともに、物価の変動に合わせた料金改定も考慮し、現行の使用料等の利用者負担が適正か否かの判断をし見直し（改定）を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施 ・施設の維持管理費等調査 ・近隣類似市調査 <p>また、施設の適正な管理を行うとともに、利用者の利便性を損なわぬよう、施設予約システムの検証・改善を行う。</p>																				
目標・成果	<p>現状を把握し負担基準の見直し（改定）を行い、利用者負担が適正であるか判断し、必要に応じ料金改定をする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>調査・研究</td> <td>⇒</td> <td>⇒</td> <td>検討</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			調査・研究	⇒	⇒	検討	実施
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度															
		調査・研究	⇒	⇒	検討	実施															
取組項目 No.2	ふるさと納税の推進																				
現状と課題	<p>平成31年4月、総務省より返礼品の調達費用等について基準が設けられ、ふるさと納税の募集方法や返礼品について各自治体において厳格な対応が求められる中、他の自治体とどのように差別化を図っていくかが課題となっている。</p> <p>すでに多くの事業者に返礼品の出品に協力いただいているが、限られた地域資源の中で、新たな返礼品の開拓・追加、そしてその中でどのように寄附額を増やしていくのかが課題である。</p>																				
取組内容	<p>新たなふるさと納税サイトの増設についても検討を行い、必要に応じてサイトを増やしていく。また、効果的な広告方法の検討・実施、関東千曲会（千曲市出身者で構成する会）等の活用など、寄附額を増やすためPRを行っていく。</p> <p>随時、市内事業者に向けて返礼品の募集を行い、新たな返礼品の追加を行っていく。</p>																				
目標・成果	<p>新たなふるさと納税サイト増設の検討、企業版ふるさと納税の推進、ガバメントクラウドファンディング等の活用により、ふるさと納税による収入額の増加を目指す。平成31年4月の総務省による返礼品の調達費用等に関する基準設定前の収入額（2億2千万円）を目標とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附金額</td> <td>千円</td> <td>150,000</td> <td>160,000</td> <td>180,000</td> <td>200,000</td> <td>220,000</td> </tr> </tbody> </table>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	寄附金額	千円	150,000	160,000	180,000	200,000	220,000
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度															
寄附金額	千円	150,000	160,000	180,000	200,000	220,000															

取組項目 No.3	<h2 style="margin: 0;">不要財産(土地)及び不用物品の売却促進</h2> <p style="text-align: right; margin: 0;">(第4次から継続) 【担当：管財契約課】</p>																	
現状と課題	<p>近年、公共施設の統廃合が進み、市営住宅や教員住宅等の行政財産が廃止となってきている。</p> <p>また、千曲線の開通等により土地開発公社が取得した代替地等が不要となり市が順次買戻しを行っている。</p> <p>これらの普通財産（土地）を長期保有することは、草刈り等の維持管理費がかかるとともに土地の有効利用という面から好ましくないと考えられる。</p> <p>また、これまで不用となった物品（備品等）については、単に廃棄処分を行ってきたが、処分費削減及び収入増加の面から売却できるものは売却することが望ましいと考えられる。</p>																	
取組内容	<p>不要となった普通財産（土地）（「市営住宅・教員住宅等の跡地」及び「土地開発公社から買戻した代替地等」）について一般競争入札や随意契約により売却を促進するとともに、故障や経年劣化した不用物品について売却できる可能性のあるものはインターネットの官公庁オークションによる売却を促進する。</p> <p>平成29年度：普通財産（土地）の一般競争入札を本格的にスタート 平成30年度：不用物品の官公庁オークションによる売却スタート 令和元年度：普通財産（土地）売却に係る要綱を制定</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>実施</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	実施	⇒	⇒	⇒	⇒						
年度計画	R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒													
目標・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○用途廃止した全ての普通財産（土地）の売却 ○土地開発公社から買い戻した全ての普通財産（土地）の売却 ○売却可能な全ての不用物品の官公庁オークションへの参加 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度										
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												

実施項目 2 歳出の適正化

取組項目 No.1	バス使用料の削減 <small>(第5次から新規) 【担当：総務課】</small>																																		
現状と課題	<p>市が管理するバス（40人乗2台、28人乗1台）については、令和元年10月に運転手（シルバー人材センター）の高齢化を理由に全て廃止した。以降、民間会社のバスを運転手付きで借用しているが、バス使用回数が多く、使用料が増嵩し財政を圧迫している。</p>																																		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用内規の改正 ・各課等に事業精査を依頼 ・参加者等からバス使用負担金の徴収を検討 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>検討</th> <th>実施</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	検討	実施	⇒	⇒	⇒																	
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																														
	検討	実施	⇒	⇒	⇒																														
目標・成果	<p>令和2年度比で令和2年度～令和6年度の間、各年度100万円削減。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス使用料の削減</td> <td>万円</td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	バス使用料の削減	万円		100	100	100	100														
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																													
バス使用料の削減	万円		100	100	100	100																													
取組項目 No.2	公共施設の統廃合の推進 <small>(第4次から継続) 【担当：財政課】</small>																																		
現状と課題	<p>当市では、多くの公共施設が老朽化により更新の時期を迎えることから、多額の修繕や建て替えに対する財源の確保が必要となってくる。 厳しい財政状況の中、少子高齢化の進行と人口減少に対処していくためには、施設の統廃合など時代とともに変化する市民ニーズに対応した施設配置を考える必要がある。</p>																																		
取組内容	<p>老朽化が進む保育施設や、設置目的・用途が類似している高齢福祉施設等について、統廃合することにより、施設の充実、施設維持経費等の削減が図れるよう検討していく。 個別施設計画を策定し、公共施設マネジメントを推進していく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>検討</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	検討	⇒	⇒	⇒	⇒																	
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																														
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒																														
目標・成果	<p>行政サービスが低下しないよう配慮し、既存の施設を有効活用するなど、施設の機能や市民ニーズにあった公共施設の統廃合に向け検討を行う。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																					
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																													

【重点項目Ⅲ】

多様な市民ニーズに応じた行政サービスの向上



実施項目 1 市民の利便性の向上

教育

ジェンダー

イノベーション

不平等

都市

取組項目 No.1

行政手続きのオンライン化促進

(第5次から新規)

【担当：情報政策課】

現状と課題

平成19年から長野県市町村共同利用の「ながの電子申請サービス」を開始し、住民や事業者がパソコンやスマートフォンを利用して24時間インターネットから行政手続きの申請・届出が可能となっており、当市も健康診断受診希望調査や保育所欠席連絡用に多くの市民が利用している。
また、平成29年からは国が運用するマイナポータルを活用したワンストップサービスにより、前住所地の所得証明書などの添付書類が不用となる行政手続きが開始した。

取組内容

平成28年官民データ活用推進基本法が施行され、地方公共団体を含む行政機関等に係る申請届出処分通知等は原則オンライン利用と定められた。市役所への来庁や郵送をせずに行政手続きが完了することは、市民生活の負担軽減に寄与するものであるため、電子申請できる手続き数を拡大していく。厳正な本人確認が必要なものは「ながの電子申請サービス」、本人確認が必要なものはマイナポータルによるワンストップサービスを利用していくことで職員の手続事務の削減も図る。

年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒

目標・成果

平成29年に策定された「デジタル・ガバメント推進方針」の目的であるオンラインサービス提供により、あらゆる行政手続において、場所や時間を問わずサービスが利用可能なワンストップ・ワンスオヌリーによる手続を可能にする。

数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
オンライン化する手続数	件	24(15)	29(17)	33(19)	38(21)	42(23)

()内は内数でマイナポータル使用の申請

取組項目 No.2

コンビニ証明書交付の利用促進

(第4次から継続)

【担当：市民課】

現状と課題

コンビニ証明書交付事業は、平成28年度にシステムの稼働を開始した。全国の店舗で、平日休日を問わず、早朝から深夜まで証明書の取得が可能な利便性の高い行政サービスであり、利用数も年々増加傾向にある。システムの維持管理費は多額な経費を要しており費用対効果の観点からも利用促進を図る必要がある。

利用に際しては、個人番号カードが必要である。国はカードの新たな利活用策として、令和2年9月マイナポイントの実施、令和3年3月健康保険証利用の本格運用を予定。これに伴いカード申請の増加が見込まれるが、さらに普及を進める必要がある。

取組内容

コンビニ交付の効果的なPR方法等を検討し実施するとともに、利用に必要な個人番号カードの普及をあわせて進める。
個人番号カードは、国の大利活用策に伴う申請増加と有効期限(5年)到来による更新手続の開始による円滑な交付、さらに普及を進めるため出張型申請受付等による普及活動に取り組む。また、普及にはカード利活用の拡充が不可欠であるため、社会保障・税番号制度導入活用検討プロジェクトチームを中心に、市独自の利活用策(市発行カード類の個人番号カードへの一体化など)を検討する。

年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒

目標・成果

住民票等証明書は、市役所窓口、市内7郵便局及びコンビニ交付で取得できるが、コンビニ交付の需要を高めることにより、窓口交付事務の省力化・効率化と、多様化するライフスタイル・市民ニーズに応え行政サービスの向上を目指す。

《コンビニ交付発行数》

H28年度(1~3月)80通、29年度465通、30年度682通、R元年度(4~11月)759通。

令和2年度は国の新利活用策実施、4年度全ての医療機関で健康保険証利用可能及び普及活動により、カード普及が飛躍的に進むものと推測、これによりコンビニ交付の利用促進へ繋げる。

数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
コンビニ証明書交付発行数	通	2,000	2,500	3,000	3,300	3,600

取組項目 No.3	<h3>放課後児童クラブにおける6年生までの受入れ体制の整備</h3> <p>(第4次から継続) 【担当：こども未来課】</p>																					
現状と課題	<p>H27施行の児童福祉法改正により、条例上「小学校に就学している児童」に拡大されているが、現在の児童館（児童センター）には6年生まで受け入れる余裕がない。 全ての放課後児童クラブで6年生までの受入れ体制を整備したうえで児童1人あたり概ね1.65m²の設備基準を満たす必要がある。 そのため、各小学校の余裕教室などの確保と指導員等の確保が必要となる。</p>																					
取組内容	<p>令和5年度までに計画的に余裕教室及び指導員等を確保し、順次6年生まで受け入れる体制を整えていく。 現在、下記4児童館（児童センター）では6年生まで受入れが可能 　・八幡児童クラブ　・更級児童クラブ　・上山田児童クラブ 　・戸倉児童クラブ 残る埴生児童クラブ、屋代児童クラブ、稲荷山児童クラブ、東部児童クラブ、五加児童クラブについて、各小学校の教室の確保と指導員等を確保する。</p> <table border="1" data-bbox="552 747 1468 848"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>実施</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>完了(定着)</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> </table>	年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	実施	⇒	⇒	完了(定着)	⇒										
年度計画	R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																
	実施	⇒	⇒	完了(定着)	⇒																	
目標・成果	<p>全ての放課後児童クラブについて、設備基準を満たす施設の整備と指導員を確保し、受入れ対象年齢を6年生まで拡大することで利用ニーズに答えるとともに、受益者負担の原則に基づき利用料の徴収を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="325 1006 1468 1140"> <thead> <tr> <th>数値目標の項目</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校の教室の確保と指導員等の確保</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料の徴収</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>⇒</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	小学校の教室の確保と指導員等の確保	箇所	1	1	1	2		利用料の徴収					実施	⇒
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																
小学校の教室の確保と指導員等の確保	箇所	1	1	1	2																	
利用料の徴収					実施	⇒																

実施項目 2 民間活力の活用・推進

取組項目 No.1	各種業務の民間委託の推進 (第4次から継続) 【担当：財政課】																												
現状と課題	<p>現在、各種業務の民間委託に取り組んでいるが、厳しい財政状況の中、質の高い行政サービスを継続して提供するためには、より一層の業務のスリム化・効率化を図る必要がある。こうしたことから、既存業務の在り方を見直すとともに、民間活力の活用が可能な業務についてでは、積極的な導入を進める必要がある。</p>																												
取組内容	<p>法定受託事務や自治事務などの窓口業務や、道路維持補修等の現業業務、その他の行政サービス（イベント等含む）についてのあり方等を精査し、民間のノウハウを活用することによる市民サービスの質の向上やコスト削減について調査・研究し、効果の見込める分野への民間活力の活用を行う。（業務委託、指定管理者制度、民営化等）</p>																												
目標・成果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度計画</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <th>調査・研究</th> <th>検討</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> <th>⇒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値目標の項目</td> <td>単位</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>民間の能力・活力を積極的に活用することを基本に、個別の業務について委託の適否を十分検証しながら民間委託の更なる拡大に取り組み、市民サービスの向上とコスト削減、業務の効率化を図る。</p>						年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	調査・研究	検討	⇒	⇒	⇒	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						
年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																								
	調査・研究	検討	⇒	⇒	⇒																								
数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																								